



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岩 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8123

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,907	1.1	107		79		46	
2023年3月期第2四半期	1,886	4.7	62		41		44	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 28百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 12百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	0.82	
2023年3月期第2四半期	0.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	3,885	2,998	77.2	53.32
2023年3月期	3,694	3,026	81.9	53.81

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,998百万円 2023年3月期 3,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	21.5	50		50		39		0.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	59,640,348 株	2023年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,395,953 株	2023年3月期	3,395,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	56,244,395 株	2023年3月期2Q	56,244,395 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行され、経済活動の正常化が進む中、個人消費の回復が見られました。一方、物価上昇や為替変動による影響など、消費マインドの動向ならびに経済の先行きは依然として不透明な状況にあることに加え、中国経済でも、個人消費が持ち直す一方で不動産不況が足かせとなるなど先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは中長期視点での価値創造を前提とした事業の選択と集中・投資を継続的に推進するとともに投資と構造改革を両輪で推進してまいりました。

事業の選択と集中の一環として、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中させることを目的とし、2023年6月30日にライフスタイル事業のギフト部門を会社分割、同分割会社の株式を譲渡いたしました。またファッション事業において、PB・ODM品を強化するとともにD2C事業への投資を継続、マテリアル事業においては、海外売上拡大に向けた人財投資、取引先の開拓、捻糸の企画開発等を推進してまいりました。これらの取組みにより、売上高は微増となりましたが、エネルギーコストの上昇、為替変動による原材料価格の高騰などの影響を受け、売上総利益は減少、売上に係る販売経費の増加とD2C事業への先行投資等により経費が増加いたしました。

この結果、売上高19億7百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業損失は1億7百万円（前年同四半期は営業損失62百万円）、経常損失は79百万円（前年同四半期は経常損失41百万円）、また、会社分割による関係会社株式売却益を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(きもの事業)

きもの事業は、顧客分析に基づく品揃え、非呉服品を含む新規商材の投下など催事の在り方を見直し、催事の活性化、収益化を推進するとともにマーケット動向を鑑み、浴衣のPOPUP出店などに取り組みました。

百貨店部門は、催事施策が進捗した東日本エリアは好調に推移するも、西日本エリアにおいて昨年5月開催の大型催事を2月に集約することとしたため、前年同四半期対比では売上減となりましたが、収益力という点では全エリアで改善が進んだ結果、減収増益となりました。専門店部門は、催事施策が奏功した西日本エリアは好調に推移するもナショナルチェーンからの和装小物の受注減により東日本エリアが低調となり、全体では減収となりましたが、催事経費等販売費の減少により増益となりました。この結果、売上高3億61百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）となりました。

(ライフスタイル事業)

ライフスタイル事業は、ヘルスケア部門においては、OEM品への商品切り替えに伴い受注が減少、また睡眠の質を向上させるプロダクト開発への投資を進めたこと及び東北地区におけるギフト部門を2023年6月30日付けで売却したこともあり減収減益となりました。この結果、売上高98百万円（前年同四半期比43.3%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比72.1%減）となりました。

(ファッション事業)

ファッション事業は、卸事業におけるミセス部門は、気温の変化対応に苦慮するもオリジナル品の受注・販売が堅調に推移するとともに消費回復もあり売上は好調に推移するも百貨店催事経費の増加により増収減益、ジュニア部門はOEM受注が好調に推移し増収増益、ホームファッション部門は大手量販店からの受注の期ずれの影響で売上減となりましたが経費削減ならびに粗利コントロールが進捗し減収増益、製品企画部門は、大口取引先からの受注減により減収減益、D2C事業はポップアップストア出店、WEB広告投下等のマーケティング施策への投資の影響があり増収減益となりました。この結果、売上高7億33百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は1百万円（前年同四半期比92.2%減）となりました。

(マテリアル事業)

マテリアル事業は、前年の都市封鎖の影響が収束したこともあり、上海事業は受注が好調に推移し大幅な増収増益となりましたが、国内事業において中国内需向けの大口受注が期ずれとなったこと、国内アパレル各社からの受注も低調となったこともあり、減収減益となりました。この結果、売上高7億12百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は21百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は36億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億83百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1億23百万円、商品及び製品が63百万円増加したことによるものであります。固定資産は2億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産「その他」が8百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は38億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億20百万円増加いたしました。これは主に、その他流動負債が1億27百万円、電子記録債務が59百万円増加したことによるものであります。固定負債は23百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に、その他固定負債が2百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は8億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は29億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が12百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金46百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は77.2%（前連結会計年度末は81.9%）となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加し、11億1百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は、43百万円（前年同四半期は1億36百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失39百万円、棚卸資産の増加99百万円の減少要因はあったものの、その他が1億51百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は64百万円（前年同四半期は0百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社株式の売却による収入65百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は、0百万円（前年同四半期は0百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,403	1,101,237
受取手形、売掛金及び契約資産	625,510	621,524
電子記録債権	126,795	139,505
商品及び製品	846,832	909,987
原材料及び貯蔵品	50,451	61,335
短期貸付金	800,000	800,000
その他	82,662	59,677
貸倒引当金	△10,194	△10,067
流動資産合計	3,499,461	3,683,201
固定資産		
有形固定資産	91,906	89,260
無形固定資産	130	265
投資その他の資産		
その他	130,609	139,071
貸倒引当金	△27,277	△26,429
投資その他の資産合計	103,332	112,642
固定資産合計	195,369	202,169
資産合計	3,694,830	3,885,371
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,749	368,732
電子記録債務	196,989	256,630
未払法人税等	7,585	6,365
その他	104,201	231,617
流動負債合計	642,525	863,345
固定負債		
その他	25,528	23,300
固定負債合計	25,528	23,300
負債合計	668,053	886,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,693	3,236,693
利益剰余金	28,374	△17,961
自己株式	△389,581	△389,581
株主資本合計	2,975,486	2,929,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,055	11,742
為替換算調整勘定	45,235	57,832
その他の包括利益累計額合計	51,291	69,574
純資産合計	3,026,777	2,998,724
負債純資産合計	3,694,830	3,885,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,886,932	1,907,594
売上原価	1,319,701	1,365,779
売上総利益	567,231	541,814
販売費及び一般管理費	630,162	649,692
営業損失(△)	△62,930	△107,878
営業外収益		
受取利息	18,817	26,184
受取配当金	789	823
為替差益	4,215	2,317
その他	760	1,950
営業外収益合計	24,582	31,277
営業外費用		
支払利息	201	104
株主優待関連費用	3,000	2,727
その他	215	83
営業外費用合計	3,416	2,915
経常損失(△)	△41,764	△79,516
特別利益		
助成金収入	6,622	-
関係会社株式売却益	-	39,730
特別利益合計	6,622	39,730
特別損失		
感染症関連損失	12,570	-
特別損失合計	12,570	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,712	△39,785
法人税、住民税及び事業税	2,066	6,550
過年度法人税等	△5,212	-
法人税等合計	△3,145	6,550
四半期純損失(△)	△44,567	△46,336
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,567	△46,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△44,567	△46,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	5,686
為替換算調整勘定	32,124	12,596
その他の包括利益合計	32,413	18,283
四半期包括利益	△12,153	△28,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,153	△28,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△47,712	△39,785
減価償却費	916	2,924
為替差損益 (△は益)	△6,174	△8,884
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△39,730
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△716	△974
受取利息及び受取配当金	△19,607	△27,008
支払利息	201	104
助成金収入	△6,622	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,585	△4,762
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△66,832	△99,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	53,308	90,599
その他	△48,446	151,427
小計	△156,273	24,838
利息及び配当金の受取額	19,607	26,898
利息の支払額	△201	△104
助成金の受取額	7,949	-
法人税等の支払額	△7,950	△7,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,868	43,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△113
無形固定資産の取得による支出	-	△250
投資有価証券の取得による支出	△496	△514
敷金の回収による収入	315	-
関係会社株式の売却による収入	-	65,307
貸付けによる支出	△2,500,000	△2,580,000
貸付金の回収による収入	2,500,000	2,580,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181	64,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,664	15,540
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△112,385	123,834
現金及び現金同等物の期首残高	1,039,767	977,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	927,382	1,101,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	きもの事業	ライフスタイル 事業	ファッション 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	369,997	173,323	739,253	604,359	1,886,932	-	1,886,932
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	369,997	173,323	739,253	604,359	1,886,932	-	1,886,932
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	△19,755	11,647	14,827	26,851	33,570	△96,501	△62,930

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△96,501千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル 事業	ファッション 事業	マテリアル 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	361,507	98,192	733,071	712,123	1,904,894	2,700	1,907,594	-	1,907,594
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	361,507	98,192	733,071	712,123	1,904,894	2,700	1,907,594	-	1,907,594
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	△16,651	3,247	1,156	21,566	9,319	2,393	11,712	△119,590	△107,878

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△119,590千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失1億16百万円及び経常損失69百万円、親会社株主に帰属する当期純損失78百万円を計上する結果となり、当社グループの業績は改善傾向にあります。前連結会計年度まで5期連続で営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。そのため、過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において、連結営業利益の黒字化を見込んでいるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。